

2017年11月1日
 タマホーム株式会社
 東京都港区高輪 3-22-9

タマホームの花粉の少ない森づくり支援の取り組みが 「ウッドデザイン賞 2017」を受賞しました

タマホーム株式会社(東京都港区、代表取締役会長兼社長兼 CEO: 玉木康裕)は、このたび当社の「国産材を使い続けるしくみを活用したスギ花粉環境改善への取り組み」が「ウッドデザイン賞 2017」を受賞しましたのでお知らせします。

ウッドデザイン賞について

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する顕彰制度です。これによって“木のある豊かな暮らし”が普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、国産材需要の拡大や森林整備の推進につながることを目的としています。受賞した作品は、ウッドデザインマークの使用が認められます。

主催:ウッドデザイン賞運営事務局(特定非営利活動法人活木活木森ネットワーク、公益社団法人国土緑化推進機構、株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所)[林野庁補助事業]



当社受賞内容

部門	分野	受賞作品名
ソーシャルデザイン部門	コミュニケーション分野	国産材を使い続ける仕組みを活用したスギ花粉環境改善への取組み

受賞作品について

日本の森林は利用期を迎えているにも関わらず、木材自給率は低水準で推移し、高度経済成長期に集中的に植林されたスギが伐採されないまま放置され、近年のスギ花粉症問題の一因となっています。

このような背景のもと、国産材の家づくりを進めてきたタマホームは、「花粉の少ない森づくり」の支援を開始しました。国産材を持続的に使い続ける流通システム「タマストラクチャー」^(※1)を活用して国産スギ材を多く使用し、さらに、再造林時に花粉の少ない苗木への植え替えを支援するという、「国産材を使う」→「花粉の少ない苗木を植える」のサイクルでスギ花粉環境の改善を目指すものです。



また、枝打ち体験、伐採見学、製材工場見学などを行う木育森林ツアーを開催し、花粉問題を含む環境課題や、国産材使用と森林資源循環の関わりなどを考える機会を提供しています。

※1 森林組合や林業者と密接に連携するタマホーム独自の木材流通システム。発注情報と買取保証によって、山側が無理のない生産体制をとることができ、林業の活性化や森林資源の有効活用につながります。「ウッドデザイン賞 2015」「2013 年度グッドデザイン賞」受賞。

◇関連ニュースリリース

タマホーム TOP>お知らせ>[2016](#)

[2016.10.21](#) 大分県、大分県森林再生機構との「花粉の少ない苗木による再造林の推進に関する協定」締結に関するお知らせ

[2016.11.14](#) 宮崎県、宮崎県森林組合連合会との「伐って使ってすぐ植える花粉の少ない森林づくり協定」締結に関するお知らせ

タマホーム TOP>お知らせ>[2017](#)

[2017.02.07](#) <花粉の少ない森林づくり・イベント報告>宮崎県森林組合連合会との共催で花粉症対策苗木植樹イベントを開催しました



花粉症対策苗木植樹祭のようす



木育森林ツアーのようす

タマホーム株式会社：<http://www.tamahome.jp/>

ウッドデザイン賞：<https://www.wooddesign.jp/>

本リリースに関するお問合せ先

タマホーム株式会社 経営企画部 広報・IR 課

TEL:03-6408-1200(代表)

受付時間:平日 9:00~18:00

※当社では毎月第3水曜日を全社定休日とさせていただきます。何卒ご了承ください。